

# 患者の皆様へ

2022年1月21日

呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「原発性肺癌に対する根治切除後に在宅酸素療法導入となるリスク因子の検討」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では下記期間に原発性肺癌に対する根治切除を行った患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

**1. 研究課題名** 「原発性肺癌に対する根治切除後に在宅酸素療法導入となるリスク因子の検討」

**2. 研究の意義・目的** 原発性肺癌術後に在宅酸素療法が必要となるリスク因子を調査しています。その結果をもとにして今後の診療の際の手術適応や術式を決める際の参考とします。

」

**3. 研究の方法** 「2017年1月1日から2021年12月31日の間に当院呼吸器外科において原発性肺癌の根治切除を受けた患者さんに関して、手術データベースをもとにした臨床情報を用いて、術後在宅酸素療法導入が必要となるリスク因子を研究しています。具体的な臨床情報としては、年齢や性別、喫煙指数、呼吸機能検査、術式、術後経過などです。」

**4. 個人情報の取り扱いについて**

本研究で得られた個人情報は匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたって患者さんの氏名などは一切公表致しません。データ等は千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室の鍵のかかる保管庫で管理します。

**5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について**

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する

る倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科  
**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院呼吸器外科 医師 鈴木 秀海  
043 (222) 7171 内線 5464